

2025 年度
シラバス
(講義計画)

学校法人 立志舎
名古屋動物専門学校
【動物管理学科】

別表 I
屋間部 動物管理専門課程（文化・教養） 動物管理学科 2年制

| 頁数 | 科目区分 | 必修・ 選択の別 | 授業科目 | 授業 形態 | 第一学年 | | 第二学年 | | 授業時数 合計 | 単位数 合計 |
|-------------|------------|-------------|--------------|----------|------|------|------|-----|------------|-----------|
| | | | | | 授業時数 | 単位数 | 授業時数 | 単位数 | | |
| 1 | 一般科目 | 必修 | ビジネスマナー | 講義 | 60 | 2 | | | 60 | 2 |
| 2 | | | 就職ゼミナールⅠ | 演習 | | | 60 | 2 | 60 | 2 |
| 3 | | 選択必修 | 総合講座Ⅰ | 講義 | 30 | 1 | | | 30 | 1 |
| 4 | | | 総合講座Ⅱ | 講義 | 60 | 2 | | | 60 | 2 |
| 5 | | | 就職ゼミナールⅡ | 演習 | | | 60 | 2 | 60 | 2 |
| 6 | 専門科目 | 必修 | 卒業研究 | 演習 | | | 150 | 5 | 150 | 5 |
| 7 | | 選択必修 A | グルーミング実習Ⅰ | 実習 | 90 | 3 | | | 90 | 3 |
| 8 | | | グルーミング実習Ⅱ | 実習 | 90 | 3 | | | 90 | 3 |
| 9 | | | ドッグトレーニング実習Ⅰ | 実習 | 30 | 1 | | | 30 | 1 |
| 10 | | | ドッグトレーニング実習Ⅱ | 実習 | 30 | 1 | | | 30 | 1 |
| 11 | | | 動物看護学Ⅰ | 講義 | 30 | 1 | | | 30 | 1 |
| 12 | | | 動物看護学Ⅱ | 講義 | 30 | 1 | | | 30 | 1 |
| 13 | | 選択必修 B | グルーミング実習Ⅲ | 実習 | | | 90 | 3 | 90 | 3 |
| 14 | | | グルーミング実習Ⅳ | 実習 | | | 30 | 1 | 30 | 1 |
| 15 | | | グルーミング論Ⅰ | 演習 | 30 | 1 | | | 30 | 1 |
| 16 | | | グルーミング論Ⅱ | 演習 | 30 | 1 | | | 30 | 1 |
| 17 | | | グルーミング論Ⅲ | 演習 | | | 30 | 1 | 30 | 1 |
| 18 | | | ドッグトレーニング実習Ⅲ | 実習 | | | 30 | 1 | 30 | 1 |
| 19 | | | ドッグトレーニング実習Ⅳ | 実習 | | | 30 | 1 | 30 | 1 |
| 20 | | | インターンシップ | 実習 | 45 | 1 | | | 45 | 1 |
| 21 | | | グルーミング研究Ⅰ | 実習 | 90 | 3 | | | 90 | 3 |
| 22 | | | グルーミング研究Ⅱ | 実習 | 90 | 3 | | | 90 | 3 |
| 23 | | | グルーミング研究Ⅲ | 実習 | | | 90 | 3 | 90 | 3 |
| 24 | | | グルーミング研究Ⅳ | 実習 | | | 30 | 1 | 30 | 1 |
| 25 | | 選択必修 C | 動物看護学Ⅲ | 講義 | | | 30 | 1 | 30 | 1 |
| 26 | | | 動物看護学Ⅳ | 講義 | | | 30 | 1 | 30 | 1 |
| 27 | | | 動物学Ⅰ | 講義 | 30 | 1 | | | 30 | 1 |
| 28 | | | 動物学Ⅱ | 講義 | 30 | 1 | | | 30 | 1 |
| 29 | | | ペットシッピング実習Ⅰ | 実習 | 45 | 1 | | | 45 | 1 |
| 30 | | | ペットシッピング実習Ⅱ | 実習 | 45 | 1 | | | 45 | 1 |
| 31 | | | ペットシッピング実習Ⅲ | 実習 | | | 45 | 1 | 45 | 1 |
| 32 | | | ペットシッピング実習Ⅳ | 実習 | | | 45 | 1 | 45 | 1 |
| 33 | | | 動物関係法令 | 演習 | 60 | 2 | | | 60 | 2 |
| 34 | | | 家庭動物管理学 | 講義 | 60 | 2 | | | 60 | 2 |
| 35 | | | 接客マナー | 講義 | | | 60 | 2 | 60 | 2 |
| 36 | | | トータルペットケアⅠ | 実習 | 90 | 3 | | | 90 | 3 |
| 37 | | | トータルペットケアⅡ | 実習 | 90 | 3 | | | 90 | 3 |
| 38 | | | トータルペットケアⅢ | 実習 | | | 90 | 3 | 90 | 3 |
| 39 | トータルペットケアⅣ | | 実習 | | | 30 | 1 | 30 | 1 | |
| 必修科目合計 | | | | | | 60 | | 210 | | 270 |
| 選択必修科目合計 | | | | | | 1125 | | 720 | | 1845 |
| 卒業に必要な総授業時数 | | | | | | 920 | | 800 | | 1720 |

1. 講義・演習は15時数～30時数で1単位とし、実習は30時数～45時数で1単位とする。
2. 選択必修Aについては、この中から3科目以上履修すること。
3. 次に定める授業科目の履修等は、本校各課程の修了に必要な総授業時数の2分の1を超えない範囲で、当該課程における授業科目の履修とみなす。

| 科目区分 | 履修する専門学校 | 必修・選択の別 | 履修科目 | 本校において履修したとみなす授業時数（単位数） |
|------|--|-----------|-----------|-------------------------|
| 一般科目 | 東京法律公務員専門学校名古屋校 文化教養専門課程 行政学科（1年制） | 選択必修 | 社会科学概論 | 40時間（2単位） |
| | | 選択必修 | 社会科学演習 | 60時間（3単位） |
| | | 選択必修 | 人文科学概論 | 40時間（2単位） |
| | | 選択必修 | 人文科学演習 | 40時間（2単位） |
| | | 選択必修 | 自然科学概論 | 40時間（2単位） |
| | | 選択必修 | 自然科学演習 | 40時間（2単位） |
| 専門科目 | 東京法律公務員専門学校名古屋校 文化教養専門課程 行政学科（1年制） | 選択必修 | 判断推理 | 40時間（2単位） |
| | | 選択必修 | 判断推理演習 | 100時間（5単位） |
| | | 選択必修 | 数的推理 | 60時間（3単位） |
| | | 選択必修 | 数的推理演習 | 100時間（5単位） |
| | | 選択必修 | トレーニング演習Ⅰ | 20時間（1単位） |
| | | 選択必修 | 就職セミナーⅠ | 20時間（1単位） |
| 選択必修 | キャリアデザインⅢ | 40時間（2単位） | | |

科目名：ビジネスマナー

開講年次：1年 授業時数：60 単位数：2
種類：一般科目 分類：必修 授業方法：講義
担当教員：本学教員

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会人として必要なビジネスマナーについて学ぶ。学生としての意識・行動を顧み、社会人としての自覚や責任感を持つ。基本的なビジネスマナーを理解し組織の一員として働く留意点を学び、仕事を行う上で必要な職場における気配り・心配り・気遣いのできる社会人を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 職場の人間関係
2. 就業中のマナー
3. 挨拶とお辞儀
4. 服装・身だしなみ
5. 話し方の基本
6. 言葉遣い
7. 上司・来客との話し方・聞き方
8. 電話対応
9. 来客対応
10. 名刺交換と紹介
11. 面談
12. 冠婚葬祭のマナー

〔テキスト〕

ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト・問題集、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。

| |
|---|
| <p>科目名：就職ゼミナールⅠ</p> <p>開講年次：2年 授業時数：60 単位数：2</p> <p>種類：一般科目 分類：必修 授業方法：演習</p> <p>担当教員：本学教員</p> <p>PC業務を経験した者によるPC業務の基礎を教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>社会人として必要とされる基本的なものの見方や考え方・行動の仕方について理解を深め、礼儀・ビジネスマナーの修得を目標とする。講座では、面接選考の仕組みを理解し、グループディスカッション、集団面接、個別面接、最終面接の面接ポイントを理解する。また自分の過去を体系的に整理し、自己分析を行いエントリーシートの作成や履歴書の作成に備える。本講座は、本学教員による演習と併せて、人事採用状況について精通している外部教員（各業界を代表する企業の人事担当者）の講話により構成される。</p> <p>パソコンの基本的な知識や技術を身に付けるため、Excelを中心に操作方法や基本的な機能について学ぶ。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職業についての考え方 2. 就職を取り巻く社会状況の分析 3. 就職活動の予備知識 4. 企業研究の仕方 5. 自己分析の仕方 6. 礼儀・マナーの知識 7. 敬語表現 8. ビデオ等による事例研究 9. 履歴書作成 10. 面接練習 11. 学内就職セミナー、学内就職説明会の実施 12. Excel データ入力や基本的なワークシート編集 13. Excel 関数を使った計算式 14. Excel 小数点とセルの参照 15. Excel 罫線 16. Excel 行・列の挿入 17. Excel グラフ 18. Excel 条件判定と順位づけ |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>よくわかるマスターMicrosoftOfficeSpecialist Excel365&2019 対策テキスト&問題集、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。</p> |

| |
|---|
| <p>科目名：総合講座 I</p> <p>開講年次：1年 授業時数：30 単位数：1 種類：一般科目 分類：選択必修 授業方法：講義 担当教員：本学教員 PC 業務を経験した者による PC 業務の基礎を教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>社会人として必要な一般教養を学び、簡単な計算、または会話に必要な漢字の読み書きができるように基礎学力を身に付ける。非言語分野を中心に繰り返し演習を行い「解法」を身に付ける。また、パソコンの基本的な知識や技術を身に付けるため、Word を中心に操作方法や基本的な機能について学ぶ。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 四則演算 2. 割合 3. 分割払い 4. 割引き 5. 仕事算 6. 速さ 7. 集合 8. 図点分布 9. 順列・組合せ 10. 確率 11. 言葉を比べる 12. 長文読解 13. Word プログラムの起動と終了 14. Word 文字の入力・文章の入力・入力の訂正 15. Word ファイルの保存と読み込み |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>SPI 基礎（ベーシック）テキスト、 よくわかるマスターMicrosoftOfficeSpecialist Word365&2019 対策テキスト&問題集 独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。</p> |

| |
|--|
| <p>科目名：総合講座Ⅱ</p> <p>開講年次：1年 授業時数：60 単位数：2 種類：一般科目 分類：選択必修 授業方法：講義 担当教員：本学教員 PC業務を経験した者によるPC業務の基礎を教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>社会人として必要な一般教養、基礎学力を身に付けた上で応用問題に取り組み、より正確かつ迅速に演習ができるようにする。また、Wordを中心にパソコンの基本的な操作方法や機能について学び、インターネット上での情報交換・情報発信・情報収集の方法についても学ぶ。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 濃度 2. 売買損益 3. 鶴亀算 4. 資料解釈 5. 推理（勝敗・位置） 6. 推理（順序・論理） 7. 物の流れと比率 8. 関数式のような式 9. 言葉を比べる 10. 長文読解 11. Word 文章の作成 12. Word 文字の修飾 13. Word 画像や図形を活用した文章の作成 14. インターネットを用いた情報検索・収集 |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>SPI基礎（ベーシック）テキスト、 よくわかるマスターMicrosoftOfficeSpecialist Word365&2019 対策テキスト&問題集 独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。</p> |

| |
|--|
| <p>科目名：就職ゼミナールⅡ</p> <p>開講年次：2年 授業時数：60 単位数：2 種類：一般科目 分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：本学教員 PC業務を経験した者によるPC業務の基礎を教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>就職内定先や業界の最新情報を取得し、社会人になる為の準備を進める。またパソコンスキルの習得やグループワーク等で課題克服やコミュニケーションスキルの習得を行う。一般教養においては常用漢字をはじめ、SPI等の演習を行う。 パソコンの基本的な知識や技術を身に付けるため、Excelを中心に操作方法や基本的な機能について学ぶ。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 業界研究 2. 時事分析 3. 漢字演習 4. SPI 5. Excel 検索関数の利用 6. Excel の便利な機能 7. Word と Excel の活用 |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>よくわかるマスターMicrosoftOfficeSpecialist Excel365&2019 対策テキスト&問題集、SPI基礎（ベシック）テキスト、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。</p> |

科目名：卒業研究

開講年次：2年 授業時数：150 単位数：5
種類：専門科目 分類：必修 授業方法：演習
担当教員：本学教員および実務経験のある教員

〔講義主要目標及び講義概要〕

就職先の業界研究など各自の定めたテーマに沿って卒業研究の成果として提出する論文を作成する。卒業論文を完成させることを通じて、将来、テーマに精通する者として、そして一社会人として自ら考え、行動する能力を養う。

〔講義・演習項目〕

1. 卒業研究概要
2. テーマの研究
3. 情報収集
4. 下書き作成
5. 清書作成
6. 製本

〔テキスト〕

学生が収集した卒業研究に関する資料、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

目標進捗度に合わせた提出期限内での内容確認及び出席等を総合して判断する。

| |
|--|
| <p>科目名：グルーミング実習Ⅰ</p> <p>開講年次：1年 授業時数：90 単位数：3 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習 担当教員：本学教員および実務経験のある教員 サロン等でトリマー経験のある者が、グルーミング 技術と関連知識を基礎から教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>グルーミングの目的を理解した上で正しい道具の扱い方を実践することで、用具・用品の適切な使用方法や手入れの方法、生体の健康チェックやグルーミングの基礎となるベーシックを中心に行う。この実習では、実務経験のある教員及びトリマーとしての実務経験者により、実体験に沿って怪我のリスクなども考慮して実施し、グルーミング基礎技術を修得することを目標とする。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グルーミング用具の使用法とお手入れ 2. グルーミング前の生体確認（体温測定や健康状態の確認） 3. 生体の保定 4. 犬のベーシック技術（爪切り、爪やすり） 5. 犬のベーシック技術（耳掃除） 6. 犬のベーシック技術（ブラッシング、コーミング） 7. 犬のベーシック技術（ベイジング） 8. 犬用シャンプーの使用法 9. 犬用リンスの使用法 10. 犬のベーシック技術（ドライイング） 11. 犬のベーシック技術（クリッピング） |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>Dog Grooming Book、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、実習の成果、期末試験（実技）、実習レポート、出席等を総合して判断する。</p> |

| |
|---|
| <p>科目名：グルーミング実習Ⅱ</p> <p>開講年次：1年 授業時数：90 単位数：3</p> <p>種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習</p> <p>担当教員：本学教員および実務経験のある教員 サロン等でトリマー経験のある者が、グルーミング技術と関連知識を基礎から教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>グルーミングの基礎知識を実習に生かし、基本的な技術を身に付け迅速かつ丁寧に作業を行い、ペイジングを完了できるような実習を行う。また、犬体モデルを使用し、ケネルカットについてカット方法を身に付ける。この実習では、実務経験のある教員及びトリマーとしての実務経験者により、実体験に沿って怪我のリスクなども考慮して実施し、グルーミング技術を有した職業人を育成することで社会へ円滑に移行できる施行者育成を目標とする。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 犬種に適したシャンプー技術（短毛種） 2. 犬種に適したシャンプー技術（長毛種） 3. 犬の体格に適したペイジング（大型犬） 4. 犬の体格に適したペイジング（小型犬） 5. 生体の保定 6. 犬のベーシック技術（ペイジング前作業） 7. 犬のベーシック技術（ペイジング） 8. 犬のベーシック技術（ペイジング後作業） 9. 犬のベーシック技術（クリッピング） 10. 犬体モデルを使用したケネルカット技術①（頭部①、足先、下腹部） 11. 犬体モデルを使用したケネルカット技術②（後軀、後肢） 12. 犬体モデルを使用したケネルカット技術③（前軀、前肢） 13. 犬体モデルを使用したケネルカット技術④（頭部②、耳、尾） |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>Dog Grooming Book、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、実習の成果、期末試験（実技）、実習レポート、出席等を総合して判断する。</p> |

科目名：ドッグトレーニング実習Ⅰ

開講年次：1年 授業時数：30 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

訓練士、ドッグトレーナー等で経験のある者が、
ドッグトレーナー等に必要な知識と技術を教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

犬の生態や習慣、行動特徴をよく理解することで「しつけ・トレーニング」が人間社会で犬と生活するうえで欠かせないものであることを理解する。また、純粋犬種を守って後世に伝えていくという目的も有しているドッグショーにおいて、ハンドラーの役割が重要であり、犬の基本的な扱い方としてハンドリング技術を身につける。

〔講義・演習項目〕

1. 犬との接し方
2. 犬とのコミュニケーション方法
3. 犬のトレーニングの必要性
4. ハンドリングとドッグショーの歴史
5. 犬の体の構造
6. ハンドリング技術①（スタック）
7. ハンドリング技術②（アップ&ダウン）
8. ハンドリング技術③（トライアングル）
9. ハンドリング技術④（ラウンド）
10. ハンドリング技術⑤（リードワーク）

〔テキスト〕

犬と猫の暮らしの教科書、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、実習レポート、出席等を総合して判断する。

科目名：ドッグトレーニング実習Ⅱ

開講年次：1年 授業時数：30 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

訓練士、ドッグトレーナー等で経験のある者が、
ドッグトレーナー等に必要な知識と技術を教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

人と犬の関係を歴史から理解したうえで、人と犬の関係をつなぐ用具やトレーニングの種類を学び、様々な犬とコミュニケーションが図れるよう実践する。その際、人間社会で犬と生活する上で必要となる「しつけ・トレーニング」とは何かを実践的に学び、「停座」「伏臥」などの「オビディエンス」の基本について学ぶ。

〔講義・演習項目〕

1. 犬の状態を理解する①（犬の触り方）
2. 犬の状態を理解する②（犬との親和）
3. 指示の仕方や種類（声符、視符）
4. 停座訓練
5. 伏臥訓練
6. 招呼訓練
7. 居座、立止訓練
8. 脚側行進訓練

〔テキスト〕

犬と猫の暮らしの教科書、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、実習レポート、出席等を総合して判断する。

| |
|---|
| <p>科目名：動物看護学Ⅰ</p> <p>開講年次：1年 授業時数：30 単位数：1 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：講義 担当教員：本学教員および実務経験のある教員 獣医師が動物看護コース以外に対し実務的に必要となる基礎を教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>犬や猫の生体構造や神経系をはじめとする生体の機能について学ぶ。生体を理解した上で行動管理・健康管理としてしつけやトレーニング、問題行動についても学習する。また、動物看護学に基づいた栄養学として、ペットフードやライフステージ別の食事管理、疾患別の食事の特徴を学ぶ。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 犬や猫の行動管理と健康管理 2. 外皮系のしくみと働き 3. 運動器系のしくみと働き 4. 神経系（脳・脊髄）のしくみと働き 5. 感覚器系のしくみと働き 6. 循環器系のしくみと働き 7. 呼吸器系のしくみと働き 8. 消化器系のしくみと働き 9. 泌尿器系のしくみと働き 10. 内分泌系のしくみと働き 11. 生殖器系のしくみと働き 12. 動物看護における栄養学 13. 栄養状態の評価法 14. ペットフード 15. ライフステージ別の食事管理 16. 疾患別の食餌の特徴 17. おやつ・間食、サプリメント |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>ビジュアルで学ぶ動物看護学[第二版]、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。</p> |

| |
|--|
| <p>科目名：動物看護学Ⅱ</p> <p>開講年次：1年 授業時数：30 単位数：1 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：講義 担当教員：本学教員および実務経験のある教員 獣医師が動物看護コース以外に対し実務的に必要となる基礎を教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>動物に影響する感染症について、感染経路や種類、予防に至るまで学ぶ。また、人獣共通感染症の原因や症状、予防についても学ぶ。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症の基礎と予防 2. 感染症①ウイルス 3. 感染症②細菌・真菌 4. 感染症③寄生虫 5. 人獣共通感染症 |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>ビジュアルで学ぶ動物看護学[第二版]、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。</p> |

| |
|---|
| <p>科目名：グルーミング実習Ⅲ</p> <p>開講年次：2年 授業時数：90 単位数：3</p> <p>種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習</p> <p>担当教員：本学教員および実務経験のある教員 サロン等でトリマー経験のある者が、グルーミング技術と関連知識を基礎から教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>プードルのカットとして、ケネル（ラム）カットを主に、一人でベーシックからクリッピング、カットまで行えるように実習を行う。この実習では、実務経験のある教員及びトリマーとしての実務経験者により、トリミング技術の目安となるケネルカットを実体験に沿って怪我のリスクなども考慮して実施し、より高いグルーミング技術を有した職業人を育成することで社会へ円滑に移行できる施行者育成を目標とする。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一人で行う犬の保定技術 2. 一人で行う犬のベーシック技術 3. トイプードルのケネル（ラム）クリップ（頭部①） 4. トイプードルのケネル（ラム）クリップ（足先・下腹部） 5. トイプードルのケネル（ラム）クリップ（後躯・後肢） 6. トイプードルのケネル（ラム）クリップ（前躯・前肢） 7. トイプードルのケネル（ラム）クリップ（頭部②） 8. トイプードルのケネル（ラム）クリップ（耳・尾） 9. 犬種の特徴によるグルーミング（非カット犬種） 10. 犬種の特徴によるグルーミング（カット犬種） |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>Dog Grooming Book、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、実習の成果、期末試験（実技）、実習レポート、出席等を総合して判断する。</p> |

科目名：グルーミング実習Ⅳ

開講年次：2年 授業時数：30 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

サロン等でトリマー経験のある者が、グルーミング技術と関連知識を基礎から教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

ケネルカット以外のカット方法を学び、実践することで、一定の犬種にこだわらずにグルーミング対応できる人材を目指す。この実習では、実務経験のある教員及びトリマーとしての実務経験者により、人気犬種のグルーミング技法を実体験に沿って行う内容とし、高度なグルーミング技術を有した職業人を育成することで社会へ円滑に移行できる施行者育成を目標とする。

〔講義・演習項目〕

1. プードルのカット方法（ケネルカット以外のカット方法）
2. アメリカン・コッカー・スパニエルのグルーミング
3. ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリアのグルーミング
4. シー・ズーのグルーミング
5. シェットランド・シープドッグのグルーミング
6. ビション・フリーゼのグルーミング
7. ポメラニアン of グルーミング
8. マルチーズのグルーミング
9. ミニチュア・シュナウザーのグルーミング
10. ヨークシャー・テリアのグルーミング

〔テキスト〕

Dog Grooming Book、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、実習の成果、期末試験（実技）、実習レポート、出席等を総合して判断する。

| |
|---|
| <p>科目名：グルーミング論Ⅰ</p> <p>開講年次：1年 授業時数：30 単位数：1</p> <p>種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習</p> <p>担当教員：本学教員および実務経験のある教員 サロン等でトリマー経験のある者が、グルーミング技術と関連知識を基礎から教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>グルーミング実習を行う際に使用する用具・用品の適切な使用方法・手入れの方法や生体管理の基礎について講義、演習を行う。この科目では実務経験のある教員及びトリマーとしての実務経験者により、正しい道具の扱いや生体の扱いを実習に生かすことでグルーミング技術向上を図る。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グルーミングの目的 2. 犬の体の名称 3. 犬の骨格の名称 4. グルーミング用具について①（ブラシ・コーム類） 5. グルーミング用具について②（爪切り・ヤスリ類） 6. グルーミング用具について③（ハサミ類） 7. グルーミング用具について④（クリッパー） 8. グルーミング用具について⑤（各種薬品やシャンプー用品等） 9. グルーミング用具の使用法とお手入れ① 10. グルーミング関係用語について |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>Dog Grooming Book、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、演習の成果、期末試験、出席等を総合して判断する。</p> |

| |
|--|
| <p>科目名：グルーミング論Ⅱ</p> <p>開講年次：1年 授業時数：30 単位数：1</p> <p>種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習</p> <p>担当教員：本学教員および実務経験のある教員 サロン等でトリマー経験のある者が、グルーミング技術と関連知識を基礎から教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>グルーミング時に使用する用具・用品の適切な使用方法・手入れの方法や生体管理の知識を用いて、カットの基本技術を学ぶためトイプードルのケネル（ラム）クリップ技法を学ぶ。この科目では実務経験のある教員及びトリマーとしての実務経験者により、正しい知識のもと、実習に生かすことでグルーミング技術向上を図る。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グルーミング用具の使用法とお手入れ② 2. グルーミング前の生体確認について 3. 生体の保定法 4. 犬のベーシック①（爪切り、耳掃除） 5. 犬のベーシック②（ブラッシング） 6. 犬のベーシック③（バイジング） 7. 犬のベーシック④（ドライイング） 8. 犬種の特徴によるグルーミング（非カット犬種） 9. 犬種の特徴によるグルーミング（カット犬種） 10. トイプードルのケネル（ラム）クリップについて（頭部①） 11. トイプードルのケネル（ラム）クリップについて（足先・下腹部） 12. トイプードルのケネル（ラム）クリップについて（後躯・後肢） 13. トイプードルのケネル（ラム）クリップについて（前躯・前肢） 14. トイプードルのケネル（ラム）クリップについて（頭部②） 15. トイプードルのケネル（ラム）クリップについて（耳・尾） |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>Dog Grooming Book、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、演習の成果、期末試験、出席等を総合して判断する。</p> |

| |
|---|
| <p>科目名：グルーミング論Ⅲ</p> <p>開講年次：2年 授業時数：30 単位数：1</p> <p>種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習</p> <p>担当教員：本学教員および実務経験のある教員 サロン等でトリマー経験のある者が、グルーミング技術と関連知識を基礎から教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>グルーミングの目的と必要性を認識し、小型犬や大型犬を問わず多種多様な犬種の特徴を学ぶとともに、トリミング技術の知見を広げる。この科目では実務経験のある教員及びトリマーとしての実務経験者により、正しい知識のもと、実習に生かすことでグルーミング技術向上を図る。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プードルのカット方法（ケネル（ラム）クリップ以外のカット方法） 2. アメリカン・コッカー・スパニエルのグルーミング 3. ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリアのグルーミング 4. シー・ズーのグルーミング 5. シェットランド・シープドッグのグルーミング 6. ビション・フリーゼのグルーミング 7. ポメラニアン of グルーミング 8. マルチーズのグルーミング 9. ミニチュア・シュナウザーのグルーミング 10. ヨークシャー・テリアのグルーミング |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>Dog Grooming Book、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、演習の成果、期末試験、出席等を総合して判断する。</p> |

科目名：ドッグトレーニング実習Ⅲ

開講年次：2年 授業時数：30 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

訓練士、ドッグトレーナー等で経験のある者が、
ドッグトレーナー等に必要な知識と技術を教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

「しつけ・トレーニング」の基本となる「停座」「伏臥」「居座」「招呼」「脚側行進」などの「オビディエンス」技術を継続して実践を行う。また、実践する際に使用する用具についても適切な使用方法やタイミングであるか実践の中で学ぶ。

〔講義・演習項目〕

1. 日常での犬の接し方
2. おもちゃでの遊び方
3. アイコンタクトの方法
4. リードの持ち方、扱い方
5. コマンドの出し方（声符、視符）
6. 停座訓練
7. 伏臥訓練
8. 招呼訓練
9. 居座、立止訓練
10. 脚側行進訓練

〔テキスト〕

犬と猫の暮らしの教科書、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、実習レポート、出席等を総合して判断する。

科目名：ドッグトレーニング実習Ⅳ

開講年次：2年 授業時数：30 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

訓練士、ドッグトレーナー等で経験のある者が、
ドッグトレーナー等に必要な知識と技術を教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

様々な犬を分析、対応するだけでなく、ドッグスポーツである「アジリティ」について学習する。また、「アジリティ」に必要な訓練だけでなく、ハンドラーの動きや「コマンド」を学び、実践で行う。

〔講義・演習項目〕

1. アジリティ競技について
2. ハンドラーの動き（スイッチについて）
3. ジャンプ障害（ハードル）
4. ジャンプ障害（ロングジャンプ）
5. ジャンプ障害（タイヤ）
6. ジャンプ障害（レンガ（ウォール））
7. タッチ障害（Aフレーム）
8. タッチ障害（ドッグウォーク）
9. タッチ障害（シーソー）
10. その他（スラローム）
11. その他（トンネル（チューブ、ソフト））

〔テキスト〕

犬と猫の暮らしの教科書、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、実習レポート、出席等を総合して判断する。

| |
|--|
| <p>科目名：インターンシップ</p> <p>開講年次：1年 授業時数：45 単位数：1 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習 担当教員：本学教員および実習先指導者 多岐にわたるペット業界の指導者のもとで職業体験を行う</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>生涯職業計画の指針として、職業選択、適性を見極めを目的として職場体験を行う。インターンシップ先は、原則として学生自身が希望する職業分野の企業にて行う。内容は、飼育・販売・接客・サービス等幅広い分野より選択できる。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人と学生の違い 2. 業界の知識 3. あいさつ・敬語の使い方 4. 就業中のマナー 5. 電話対応 6. 接客対応 7. 金銭管理 8. 生体管理・飼育方法 9. 消耗品の管理 10. 備品の管理 |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>出席状況、インターンシップ評価書及びインターンシップ日誌等において総合的に判断する。</p> |

| |
|---|
| <p>科目名：グルーミング研究Ⅰ</p> <p>開講年次：1年 授業時数：90 単位数：3</p> <p>種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習</p> <p>担当教員：本学教員および実務経験のある教員 サロン等でトリマー経験のある者が、グルーミング技術と関連知識を基礎から教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>グルーミング道具を正しく使用し、ベーシックの基礎技術を高め、さらに迅速かつ丁寧なグルーミングができる技術の修得を目標とする。この科目では実務経験のある教員及びトリマーとしての実務経験者により、ペットサロンで必要となる知識・技術を効率良く発揮する方法を実体験に基づき学ぶことでトリマーとしての職業人を目標とする。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グルーミング用具の効果的な使用方法 2. 生体確認、健康チェック 3. 生体の保定法 4. 犬種に適したシャンプー技術 5. 犬の体格に適したバイジング 6. クリッピング技術 7. 犬のベーシック技術（バイジング前） 8. 犬のベーシック技術（バイジング） 9. 犬のベーシック技術（バイジング後） 10. 犬のベーシック技術（クリッピング） |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>Dog Grooming Book、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、期末試験、実習レポート、出席等を総合して判断する。</p> |

科目名：グルーミング研究Ⅱ

開講年次：1年 授業時数：90 単位数：3

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

サロン等でトリマー経験のある者が、グルーミング技術と関連知識を基礎から教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

プードルを主とした生体実習により、様々なカットの基礎技術を学び、迅速かつ丁寧なトリミングができる技術の修得を目指すとともにグルーミング技術の資格取得を目標とする。この科目では実務経験のある教員及びトリマーとしての実務経験者により、ペットサロンで必要となる飼い主様との接し方やカットのオーダー、カルテ作成などを実体験に基づき学ぶことでトリマーとしての職業人を育成し、社会へ円滑に移行できる施行者育成を目標とする。

〔講義・演習項目〕

1. グルーミングオーダーの取り方、カルテ作成
2. 飼い主様とのコミュニケーション実践
3. 薬用シャンプーに関する基礎知識
4. 犬の保定技術
5. 犬のベーシック技術
6. ケネル（ラム）クリップ（クリッピング）
7. ケネル（ラム）クリップ（シザーリング）
8. テディベアカット
9. ボレロ・マンハッタン・クリップ
10. タウン&カントリー・クリップ

〔テキスト〕

Dog Grooming Book、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、実習レポート、出席等を総合して判断する。

科目名：グルーミング研究Ⅲ

開講年次：2年 授業時数：90 単位数：3

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

サロン等でトリマー経験のある者が、グルーミング技術と関連知識を基礎から教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

小型犬や大型犬、様々な犬種の特性に合ったグルーミングの知識と技術を学ぶとともに、時間を短縮して犬に負担を掛けないトリミング技法を身に付けることを目標とする。この科目では実務経験のある教員及びトリマーとしての実務経験者により、スピードトリミング技術をより実践的に行うことで、高度なグルーミング技術を有したトリマーを育成することで社会へ円滑に移行できる施行者育成を目標とする。

〔講義・演習項目〕

1. スピードトリミング
2. アメリカン・コッカー・スパニエルのグルーミング
3. ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリアのグルーミング
4. シー・ズーのグルーミング
5. シェットランド・シープドッグのグルーミング
6. ビション・フリーゼのグルーミング
7. ポメラニアン of グルーミング
8. マルチーズのグルーミング
9. ミニチュア・シュナウザーのグルーミング
10. ヨークシャー・テリアのグルーミング

〔テキスト〕

Dog Grooming Book、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、実習レポート、出席等を総合して判断する。

科目名：グルーミング研究Ⅳ

開講年次：2年 授業時数：30 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

サロン等でトリマー経験のある者が、グルーミング技術と関連知識を基礎から教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

トリマーとして必要となる接客技術やお客様（お預かり犬）の情報管理、カットに必要なオーダーや時間を短縮して犬に負担を掛けないトリミング技法や、即戦力となりうる応用力を身に付けることを目標とする。この科目では実務経験のある教員及びトリマーとしての実務経験者により、ペットサロンで実践されているトリミング技術を行うことで、より高度なグルーミング技術を有したトリマーを育成することで社会へ円滑に移行できる施行者育成を目標とする。

〔講義・演習項目〕

1. デザインカットの研究
2. カラーリングの基礎知識
3. スピードトリミング
4. 犬種の特性に合ったグルーミングの技術と知識
5. アメリカン・コッカー・スパニエル
6. ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリア
7. シー・ズー
8. シェットランド・シープドッグ
9. ビション・フリーゼ
10. ポメラニアン
11. マルチーズ
12. ミニチュア・シュナウザー
13. ヨークシャー・テリア

〔テキスト〕

Dog Grooming Book、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、実習レポート、出席等を総合して判断する。

| |
|--|
| <p>科目名：動物看護学Ⅲ</p> <p>開講年次：2年 授業時数：30 単位数：1 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：講義 担当教員：本学教員および実務経験のある教員 獣医師が動物看護コース以外に対し実務的に必要となる基礎を教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>犬猫の生体構造や神経系をはじめとする生体の機能について理解した上で、各系統ごとにおもな検査方法や代表的な疾患や特徴について学ぶ。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外皮系のおもな検査と代表的な疾患 2. 運動器系のおもな検査と代表的な疾患 3. 神経系（脳・脊髄）のおもな検査と代表的な疾患 4. 感覚器系のおもな検査と代表的な疾患 5. 循環器系のおもな検査と代表的な疾患 6. 呼吸器系のおもな検査と代表的な疾患 7. 消化器系のおもな検査と代表的な疾患 8. 泌尿器系のおもな検査と代表的な疾患 9. 内分泌系のおもな検査と代表的な疾患 10. 生殖器系のおもな検査と代表的な疾患 |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>ビジュアルで学ぶ動物看護学[第二版]、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。</p> |

| |
|--|
| <p>科目名：動物看護学Ⅳ</p> <p>開講年次：2年 授業時数：30 単位数：1 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：講義 担当教員：本学教員および実務経験のある教員 実務的に必要となる基礎を教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>薬の種類や分類をはじめ、薬の作用や投与方法、毒薬や劇薬等の有害作用について学ぶとともに、薬理学に基づく各器官の薬や駆虫薬、殺虫薬、感染症の薬についても学ぶ。 また、犬猫以外の動物としてエキゾチックアニマルの生体や特徴、感染症についても学ぶ。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬理学総論 2. 薬理学各論 3. エキゾチックアニマルと人獣共通感染症 4. ウサギ 5. フェレット 6. ハムスター 7. モルモット 8. セキセイインコ 9. カメ類 |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>ビジュアルで学ぶ動物看護学[第二版]、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。</p> |

科目名：動物学 I

開講年次：1年 授業時数：30 単位数：1
種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：講義
担当教員：本学教員

〔講義主要目標及び講義概要〕

世界に存在する犬種を用途別に分類した上で、特に日本国内で飼育されている犬種の誕生や生体、特徴、性格について学び、特徴や性格に基づき飼養方法のポイントも学ぶ。

〔講義・演習項目〕

1. 世界の犬種：古代犬の犬種及び特徴と性格
2. 世界の犬種：視覚ハウンドの犬種及び特徴と性格
3. 世界の犬種：スピッツ・タイプの犬種及び特徴と性格
4. 世界の犬種：嗅覚ハウンドの犬種及び特徴と性格
5. 世界の犬種：ガン・ドッグの犬種及び特徴と性格
6. 世界の犬種：テリア犬種の特徴と性格
7. 世界の犬種：牧畜犬&護衛犬の犬種及び特徴と性格
8. 世界の犬種：コンパニオンドッグの犬種及び特徴と性格
9. 世界の犬種：日本原産犬種の特徴と性格

〔テキスト〕

世界の犬図鑑、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：動物学Ⅱ

開講年次：1年 授業時数：30 単位数：1
種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：講義
担当教員：本学教員

〔講義主要目標及び講義概要〕

犬種についての理解度を確認するために総復習を行う。また、世界に存在する猫種の生体や特徴、性格について学ぶ。

さらにキャットショーの見学会に参加し、猫のスタンダードについて学ぶ。

〔講義・演習項目〕

1. 犬種の総復習
2. 猫の毛色
3. 猫の体型と部位名称
4. 猫種（コビー）
5. 猫種（セミコビー）
6. 猫種（セミフォーリン）
7. 猫種（フォーリン）
8. 猫種（オリエンタル）
9. 猫種（ロングアンドサブスタンシャル）
10. キャットショー

〔テキスト〕

世界の犬図鑑、世界の猫図鑑、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：ペットシッティング実習Ⅰ

開講年次：1年 授業時数：45 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

訓練士、ドッグトレーナー等で経験のある者が、
ペットシッティング等に必要な知識と技術を教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

動物が身体的、精神的に健康に過ごせるよう、ペットシッティングを通じて動物と飼養施設の管理について学ぶ。動物を観察し、給餌、給水を適切に行うことで、動物の健康状態の把握と維持に努める。そして、飼養施設の清掃と消毒、廃棄物の処理を適切に行うことで衛生管理を行い、温度及び湿度管理をすることで動物が快適に生活できる環境づくりを身につける。さらに円滑にペットシッティングが実施できるよう消毒薬や消耗品の在庫管理を行う。ペットシッティングを通じて動物愛護の精神を涵養し、動物の取扱い、動物の福祉について学ぶ。

〔講義・演習項目〕

1. 動物の観察と取扱い①
2. 給餌、給水と体重管理①
3. 適切温度及び湿度の管理①
4. 動物の健康管理①
5. 飼養施設の清掃と消毒①
6. 廃棄物処理及び衛生管理①
7. 動物愛護論①
8. 緊急時の対応①

〔テキスト〕

独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

出席およびレポートにより判断するが、評価にあたっては出席率を重視する。

科目名：ペットシッティング実習Ⅱ

開講年次：1年 授業時数：45 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

訓練士、ドッグトレーナー等で経験のある者が、
ペットシッティング等に必要な知識と技術を教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

動物が身体的、精神的に健康に過ごせるよう、ペットシッティングを通じて動物と飼養施設の管理について学ぶ。動物を観察し、給餌、給水を適切に行うことで、動物の健康状態の把握と維持に努める。また、動物の健康時と異常時の違いを認識し、異常が見受けられた場合の対応を身につける。飼養施設の清掃と消毒、廃棄物の処理を適切に行うことで衛生管理を行い、温度及び湿度管理をすることで動物が快適に生活できる環境づくりを身につける。さらに円滑にペットシッティングが実施できるよう消毒薬や消耗品の在庫管理を行う。

〔講義・演習項目〕

1. 動物の観察と取扱い②
2. 給餌、給水と体重管理②
3. 適切温度及び湿度の管理②
4. 動物の健康管理②
5. 動物に異常があった場合の対応①
6. 飼養施設の清掃と消毒②
7. 廃棄物処理及び衛生管理②
8. 動物愛護論②
9. 緊急時の対応②

〔テキスト〕

独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

出席およびレポートにより判断するが、評価にあたっては出席率を重視する。

科目名：ペットシッティング実習Ⅲ

開講年次：2年 授業時数：45 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

訓練士、ドッグトレーナー等で経験のある者が、
ペットシッティング等に必要な知識と技術を教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

動物が身体的、精神的に健康に過ごせるよう、ペットシッティングを通じて動物と飼養施設の管理について学ぶ。動物を観察し、給餌、給水を適切に行うことで、動物の健康状態の把握と維持に努める。また、動物の健康時と異常時の違いを認識し、異常が見受けられた場合の対応を身につける。飼養施設の清掃と消毒、廃棄物の処理を適切に行うことで衛生管理に努め、温度及び湿度を管理し、動物が快適に生活できる環境づくりを身につける。さらに円滑にペットシッティングが実施できるよう消毒薬や消耗品の在庫管理を行う。

〔講義・演習項目〕

1. 動物飼養室の管理①
2. ペットフードと体重管理①
3. 適切温度及び湿度の管理③
4. 消毒薬品等の管理①
5. 消耗品管理①
6. 廃棄物処理及び衛生管理③
7. 動物愛護論③
8. 緊急時の対応③

〔テキスト〕

独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

出席およびレポートにより判断するが、評価にあたっては出席率を重視する。

科目名：ペットシッティング実習Ⅳ

開講年次：2年 授業時数：45 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

訓練士、ドッグトレーナー等で経験のある者が、
ペットシッティング等に必要な知識と技術を教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

動物の飼養施設の衛生管理、温度及び湿度の管理、給餌と給水を適切に行う知識と技術を学校犬へのペットシッティングを通じて身につける。さらに円滑にペットシッティングが実施できるよう消毒薬や消耗品の在庫管理を行う。また、管理、指導役としてペットシッティング実施者へのアドバイス、作業状態をチェックできるよう、飼養施設の管理を総合的に把握する能力を身につける。

〔講義・演習項目〕

1. 動物飼養室の管理②
2. ペットフードと体重管理②
3. 適切温度及び湿度の管理④
4. 消毒薬品等の管理②
5. 消耗品管理②
6. 廃棄物処理及び衛生管理④
7. 動物愛護論④
8. 緊急時の対応④

〔テキスト〕

独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

出席およびレポートにより判断するが、評価にあたっては出席率を重視する。

| |
|--|
| <p>科目名：動物関係法令</p> <p>開講年次：1年 授業時数：60 単位数：2 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：本学教員</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>人と動物との関わりに関する基本法「動物の愛護及び管理に関する法律」等について正しい知識を学ぶ。日本においては動物に関する法律として約20種類ほどのものがあり、身近な伴侶（愛玩）動物（飼養動物）として接するもの、自然の中に生息している野生動物として接するものと大別できる。法律に則り、適切に動物を取り扱うことのできる人材を育成する。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 動物と法律の関係 2. 動物の愛護及び管理に関する法律 3. 動物の飼養及び保管に関する基準 4. 動物愛護関係条例 5. 家庭飼育動物に関わる関係法令 6. 産業動物に関わる関係法令 7. 身体障害者補助犬法 8. ペットフード安全法 9. 狂犬病予防法 10. 野生動物に関わる関係法令 |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>愛玩動物飼養管理士テキスト、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。</p> |

科目名：家庭動物管理学

開講年次：1年 授業時数：60 単位数：2

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：講義

担当教員：本学教員

〔講義主要目標及び講義概要〕

ペット販売者は、命あるペットを販売する場合に、飼い主に対し社会的責任を果たすために必要なことを十分説明する責任がある。ペット業界に携わる者として必要な動物愛護管理法に関する知識を身につける必要がある。また、トラブルを予防するための基礎知識やアフターフォローの方法も学習し、お客様に対しての接客マナーを合わせて学びます。さらに犬と猫を中心とした病気、繁殖、フード、しつけなども学習する。

〔講義・演習項目〕

1. 動物取扱業の社会的役割と責任
2. 動物の愛護のための法律知識
3. 動物販売に必要な基礎知識と技術
4. 動物に関する基礎知識
5. 動物の適正飼養・管理のための行動学
6. 動物の展示方法と衛生管理
7. 犬と猫の病気に関する知識
8. ペットフード・犬猫関連用品の基礎知識
9. 動物の適正な繁殖方法
10. ペット関連法規

〔テキスト〕

家庭動物管理士テキスト、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。

| |
|--|
| <p>科目名：接客マナー</p> <p>開講年次：2年 授業時数：60 単位数：2 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：講義 担当教員：本学教員</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、応対の技術、話し方、態度・振舞いなど接客技能を養う。身だしなみ、話し方や経済用語、社会常識、時事用語などの知識を身につけた上で、実際の事例を基に的確な対処ができる能力を習得する。実務技能においては、問題処理、環境整備、金品管理、金品搬送、社交業務の5分野について学ぶ。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サービススタッフの資質 2. 従業要件について 3. サービス知識について 4. 従業知識について 5. 社会常識とは 6. 対人技能の人間関係とは 7. 対人技能の接客知識について 8. 対人技能の話し方・服装について 9. 実務技能 10. 過去問題演習 |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>サービス接客検定公式テキスト・サービス接客検定問題集、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、期末試験、出席等を総合して判断する。</p> |

| |
|--|
| <p>科目名：トータルペットケア I</p> <p>開講年次：1年 授業時数：90 単位数：3 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習 担当教員：本学教員および実務経験のある教員 ドッグトレーナー、ペット関連企業等で経験のある者が、必要な知識と技術を教える</p> |
| <p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>人間と同様に人と一緒に暮らすペットも「心身ともに健康」な状態を目指すことが大切である。人と動物との関わり方を学ぶとともに動物へのケアを学ぶ。人と犬の関係をつなぐ用具やトレーニングの種類を学び、様々な犬とコミュニケーションが図れるよう実践する。その際、人間社会で犬と生活する上で必要となる「トレーニング」とは何かを実践的に学び、「停座」「伏臥」などの「オビディエンス」の基本について学ぶ。</p> <p>また、実務経験のある教員が経験した実体験や動物介在活動に基づく内容やペットの癒しとして自然治癒力を高めるアロマセラピーやマッサージ、ホリスティック療法を通じて身体全体のケアを学ぶ。</p> |
| <p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ペット業界と業種 2. ペット関連の職種・職業 3. ペットの選択と入手 4. 品種 5. 停座訓練 6. 伏臥訓練 7. 脚側行進訓練 8. アロマセラピーの歴史と利用法 9. 精油の基礎知識 11. ホリスティックマッサージ 12. 動物介在活動について 13. 犬を用いることによる利点と犬の問題行動 14. 動物介在活動における会話 |
| <p>〔テキスト〕</p> <p>犬と猫の暮らしの教科書 アロマセラピー検定公式テキスト1級・2級、 アロマセラピー検定1級・2級テキスト&問題集、独自に作成したプリント教材</p> |
| <p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される各テスト、期末試験、実習レポート、出席等を総合して判断する。</p> |

科目名：トータルペットケアⅡ

開講年次：1年 授業時数：90 単位数：3

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

ドッグトレーナー、ペット関連企業等で経験のある者が、必要な知識と技術を教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

「トレーニング」の基本となる「オビディエンス」を継続し、技術の習得を行う。

人と動物の共生に関わるペット産業を知ると共に人と動物との関わり方を学ぶ上で、動物介在活動（AAA）についての知識と技術を身につけ、実践の場として特別介護施設等で動物介在活動を実施し、その効果を実感するとともに犬の扱い方や参加者とのコミュニケーションスキルを身に付ける。

〔講義・演習項目〕

1. トレーニング
2. ボディケア
3. 美容・癒し
4. コミュニケーション
5. ドッグラン
6. ペットツーリズム
7. ペット撮影
8. ペットイベント
9. 遊び方・玩具
10. アロマセラピー
11. ホリスティックマッサージ
12. 動物介在活動について
13. 犬を用いることによる利点と犬の問題行動
14. 動物介在活動における会話
15. 動物介在活動体験
16. 動物介在活動体験からの問題点分析と改善

〔テキスト〕

犬と猫の暮らしの教科書

アロマセラピー検定公式テキスト1級・2級、

アロマセラピー検定1級・2級テキスト&問題集、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、実習レポート、出席等を総合して判断する。

科目名：トータルペットケアⅢ

開講年次：2年 授業時数：90 単位数：3

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

ドッグトレーナー、ペット関連企業等で経験のある者が、必要な知識と技術を教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

ペットのストレス、成人病、高齢化や肥満といった人間社会と同じような社会現象も現れてきていることを理解し、ペットフードに関わる知識を習得することを目標とする。

また、グループ討論を行うことによってコミュニケーションスキルを高め合い、個々の思考能力を高める。

さらに主体的に動物介在活動を行うためにプログラムの立案を行い、参加者に適した接し方や活動における留意点についても思案し、安全かつ適正なセラピー活動を実践する。

〔講義・演習項目〕

1. 犬・猫の栄養に関する基礎知識
2. ペットフード関連法規
3. ペット飼育の基礎マナー
4. 獣医療とペット保険
5. ホリスティックマッサージ
6. 動物介在活動プログラムの立案
7. 活動施設の把握
8. セラピー犬育成
9. 動物介在療法（AAT・AAE・AAA）の将来

〔テキスト〕

ペットフード販売士認定講習会テキスト、犬と猫の暮らしの教科書、
独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、実習レポート、出席等を総合して判断する。

科目名：トータルペットケアⅣ

開講年次：2年 授業時数：30 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：実習

担当教員：本学教員および実務経験のある教員

ドッグトレーナー、ペット関連企業等で経験のある者が、必要な知識と技術を教える

〔講義主要目標及び講義概要〕

飼い主の心に寄り添い、傾聴し、アドバイスを行う手法の修得と動物介在活動における社会貢献活動について取り組める人材を目標とする。

ここではトレーニングやホリスティックケアの集大成として、アロマセラピー、マッサージ技法およびリンパマッサージ、犬猫のストレス軽減、犬猫に負担の少ないグルーミングなどを総合的に学ぶ。

また、社会貢献活動としての動物介在活動を継続し、実践する。

〔講義・演習項目〕

1. オビディエンス
2. アジリティ
3. 効果的なマッサージの組み合わせ
4. エキゾチックアニマル・鳥・観賞魚
5. ペット飼育の効果・効用
6. 動物介在活動体験
7. 体験からの問題点分析と改善

〔テキスト〕

ペットフード販売士認定講習会テキスト、犬と猫の暮らしの教科書、独自に作成したプリント教材

〔成績評価〕

授業期間中に実施される各テスト、期末試験、実習レポート、出席等を総合して判断する。